



クローバー (ツメクサ)

夏緑 / 多年草 / 地被類等 / 草本植物 / 外来種



科名 マメ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや速い

草原や土手堤などで野草に紛れて群落をつくる身近な夏緑多年草。シロツメクサは草丈15cmほどで、花には微かな芳香がありミツバチがよく訪れる。江戸時代に欧州からガラス器を運ぶ際、乾燥させたクローバーをクッション代わりに詰めたため「詰め草」名でも呼ばれる。



Memo

細かい種子を均一に蒔(ま)くのは容易でない。こんな時、乾燥した川砂と混ぜて蒔くと上手くいく。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
	花 期				■						■			
	果 実				■									
	紅 葉													
	施 肥				■ (痩せ地でなければ不要)									
剪 定	(花殻の摘み取りと、弱った部分の切除)													

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壌	乾	○	○	湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強		○	弱
潮 風	強	○		弱

観賞ポイント	姿						
	花						
	葉						
	紅葉						
	黄葉						
実							
香							

ポイント 湿った土壌なら土質を選ばない。耐寒性もあり日本全土で生育可能だが暑さに弱く夏枯れしやすい。マメ科植物の根は根粒菌と共生し、やせ地でも窒素固定して良く育つ。春に種をまいて定着させる。

剪 定 クローバーの手入よりも、種を蒔(ま)いた後、発芽してある程度生長するまでの間、除草する必要がある。地表に直接光が当たらないほどに生長すれば、雑草の繁殖を抑える効果がある。

病虫害 アブラムシやハダニが発生することがある。ハダニは葉水(はみず)をかけると防ぐことができる。